

プログラム名 (40字以内)	JICAの国内の現場で国際協力を知る		
団体名/所属	JICA東京・東京大学三四郎会		
活動区分	国際交流体験活動、 就労体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	2人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	国際協力・開発援助に関心を有する学部学生及び大学院学生、英語の会話・読解能力を有すること、プログラム全期間を通して参加できること		
活動期間	2026/8月～9月 1週間程度（備考欄を参照）	主な活動予定場所	JICA東京（渋谷区西原）
プログラム実施の目的	国際協力の重要な現場であるJICA国内拠点において、開発途上国からの研修員受入に伴う業務や、地域の様々なパートナー（自治体・大学・企業・NGO・市民）との連携について体験することを通して、日本の国内で行われる国際協力について理解を深める。		
具体的な内容(800字程度)	<p>①事前研修プログラム ・オリエンテーション(参加学生の顔合わせ、問題意識や目標の設定・共有)を行う。 ・他の東京大学三四郎会企画と合同でマナー/スキル研修を行う。</p> <p>②活動内容 ◆活動先: JICA東京はJICAが全国15カ所に設置している国内拠点の中で最大の事業規模を持ち開発途上国から国づくりの担い手となる多数の人材を「研修員」として受け入れ、開発途上国のさまざまな課題に対応して、日本の知見と技術を伝えると共に、日本理解の促進や地域の活性化にも貢献する多種多様な研修メニューを提供している。 また、JICA東京は1都5県(東京・埼玉・千葉・群馬・新潟)における国際協力の総合窓口・活動拠点として、地域のパートナーと連携した草の根技術協力など様々な市民参加協力活動を行っている。 ◆過去の体験活動内容(例) 1) JICA東京の各課および海外事務所の事業概要についてのブリーフィング 2) 研修への参加並びに研修員との交流(海外での協力事例、研修事業、国内教師の海外研修事後報告会、海外研修員のための納涼会への参加) 3) JICA事業の広報に関する業務(“来訪者にとって魅力的な展示方法を考える”) 4) JICA東京職員との面談 5) 体験のとりまとめとJICAでの報告会 ◆その他 1) 他大学と合わせ、同時期・同期間・同実習内容となる。 2) 実習内容についてはJICAが決定する。 3) JICA東京での活動を予定。 ③事後プログラム 活動終了後に、他の東京大学三四郎会企画参加者も含めたプレゼン報告会を行う。</p>		
【総額】参加するための費用	なし。ただし、JICA東京までの交通費は参加者負担。		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし。		
【内訳】参加するための費用(交通費)	なし。		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし。		
奨励金額(予定)	なし		
備考	<p>活動期間決定: 5月末(夏季休暇中の開催となった場合) * 実習の形式では、オフラインとオンラインの組合せとする。 * 活動期間は受入先から指定される(参加学生が活動期間を選択することはできない)。 * 活動期間は全て空いている学生が申請することが望ましい。 * 具体的な実習内容は活動開始実施の1週間前を目安に連絡するので、そのテーマについて事前に調べておくこと。</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	<p>【JICA東京】https://www.jica.go.jp/tokyo/ 【JICAインターンシッププログラム】https://www.jica.go.jp/recruit/intern/index.html 【東京大学三四郎会】http://www.facebook.com/todaisanshiro</p>		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加しない		